

佐賀県臨床検査技師会 会員各位

第 33 回生物試料分析科学会

集会長 池田 弘典

第 33 回 生物試料分析科学会 年次学術集会の案内

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶びを申し上げます。

さて、第 33 回 生物試料分析科学会 年次学術集会を下記の日程で開催致します。
本学会は、「生物試料の分析」をテーマに設立され、臨床検査技師の教育、研究者や検査技師の会員から成り立っています。

今回の学術集会では「臨床検査の新たな展開 after コロナ時代を見据えて」をテーマ
に開催いたします。プログラムは、特別講演、教育講演、招待講演、シンポジウム、企業
発表、一般演題を多数企画しております。

謹白

記

学 会 名：第 33 回 生物試料分析科学会 年次学術集会

学会テーマ：「臨床検査の新たな展開 after コロナ時代を見据えて」

会 期：令和 5 年 3 月 4 日（土）～5 日（日）

開 催 方 法：Web 開催 (<http://www.abs33.jp/>)（一部オンデマンド配信）

参 加 費 用：7,000 円 ※ホームページより事前登録

申し込み締切：2023 年 2 月 28 日

集 会 長：池田 弘典（佐賀大学医学部附属病院）

実行委員長：外園 栄作（九州大学大学院）

事務局 長：井上 賢二（久留米大学病院）

【プログラム】

特 別 講 演 ①「COVID-19 感染症の感染制御 アウトブレイクの経験」

②「アフターコロナ時代における臨床検査の未来を考える」

教 育 講 演 ①「with コロナ時代の人材育成」

②「発酵食品（麴）に関する研究」

招 待 講 演 「検査技術の【過去から現在、そして今後の展開】」

シンポジウム 「遺伝子検査の精度保証について」

一 般 演 題 33 演題（微生物、病理、免疫、臨床化学、検査法など）

期間中は、ホームページにて公開される学会情報をご覧ください。

臨床検査に関連した、興味深いテーマを多数取り揃えていますので、皆様多数のご参加
をお待ちしています。

